

「守られている間に、守る力を」

2025・12・22 校長 重枝一郎

2学期までを振り返ると、みなさんの一人一人の頑張り、集団としての頑張りをつくさん感じることができました。上級生は後輩たちのよき手本となり、生徒会活動や行事等で大きな成果を残してくれました。もしかしたら、決して楽しいことばかりではなく、つまづいたり、悩んだりしたこともあったと思います。それが「壁を階段に変える力」ということです。行動すると、壁に必ずぶち当たります。それはネガティブなことではなく、その一つ一つが貴重な体験となり、これからの糧となると思います。

さて、人間の発達段階の話で、昆虫の蝶が、幼虫からさなぎになるのが、人では思春期前期（中学生）、さなぎが蝶になるのが、人では思春期後期（高・大学生）という例えがあります。これは、子どもが大人になることは大変なことであるということ、また、短期間に心身共に大変革を遂げるので、その間は、さなぎのような固い殻に守られていることを言っています。

この話から、みなさんにとっての固い殻とは、何でしょう？それは、“学校”ということになります。学校は、さなぎの固い殻と同様に、みなさんを守り、成長を促す場ということになります。みなさんは、あまりそういった意識はないかもしれませんが。しかしながら、私は、みなさんには、「守られていること」に気づき、この守られている学校生活の間に、なすべきことや、成長すべきことに気づいてほしいと思っています。

学校を卒業すると、殻の役目をする場所がなくなるかもしれません。それまでは、みなさんの成長を阻害するものからみなさんを守る、みなさん自身の不安定さからみなさんを守る、みなさんの才能の芽が出るまで見守るということを学校はやっていきます。また、今のみなさんがしなくてはならないことも求めるし、一人の人間として強くなることを自分の問題として捉えてもらうこともします。次のステージでは守ってくれるものはないかもしれません。ちょっと不安になるかもしれないけど、**そういう想像力は「チャレンジするのは今だ！」という気持ちを高めてくれます。**ちなみに、学校を出た後は、誰も守ってくれないと思ったかもしれませんが、実際は、世の中そう冷たいものではなく、みなさんを守ってくれるものはまだまだあるでしょう。

私がみなさんに言いたいのは、**守ってもらうばかりではなく、守る側に回る経験もしてほしいのです。**学校生活の中で、みなさんは全員守られる経験は必ずしていることになります。だから今のうちに、守る側になれるくらいの強さやたくましさを身に付ける経験もしてほしいと思うのです。みなさんは、基本的に一日の大半は学校内で過ごしています。その中でしようと思えば「守る側の経験」をたくさんできると思います。学校

外でもそれぞれがいろんな経験をしていると思います。学校外での「守る側の経験」に対し、学校長表彰というものをさせてもらっています。今年も7名の生徒が校長室で表彰され、学校HPに掲載されています。先日も、高3の3名の生徒が、道に迷って自宅に帰れなくなっている高齢者に対し、道案内をし、そのご家族から大変感謝され、お礼のお手紙をいただいたということがありました。ミッション生らしい愛のある行動だったと思います。

また、本校は**ゴールボール（※参照）**の大会に特進クラスの生徒が参加しています。

※ ゴールボールは、目隠しをしながら鈴の入ったボールを転がしてゴールに入れることで得点とする視覚障がい者の球技で、障がい者スポーツの1つ。第二次世界大戦で視覚障がいを負った傷痍軍人のリハビリテーションのために考案された。パラリンピックの正式種目となっている。とても不安な状況の中で、コミュニケーションの大切さや、他者への信頼感を感得できます。

ただいま福岡地区4連覇中なのですが、今年度の生徒は、このゴールボールを、「はないち探究学習」のテーマとして取り上げました。このことは私の中では、練習して大会に参加することは、「守られている間」という捉えをしています。でも、今回は、「はないち探究学習」のテーマにして、この競技の意義を他者に広げることしようとしているので、「守る力」という捉えができると思っています。考え方としては、授業中、定期考査、学校行事、部活動も「守られている間」ということになり、その学びが誰かのためや、世の中のために表出することが「守る力」ということになるとと思っています。

ちなみに今年の試合日は2月21日（土）、会場は博多高校体育館です。

「守られている間に、守る力を」

では、3学期の始業式に元気な姿のみなさんと会えることを楽しみにしています。

お祈りをします

主なる神様

生徒たちを守っていただいていることに感謝します

生徒たちに、誰かを守る力もお与えください

そのために、常にそばにいて、励まし、その時々にはふさわしい知恵と勇気をお与えください

この願いを主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします

アーメン